

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公開番号】特開2011-128148(P2011-128148A)

【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2010-266499(P2010-266499)

【国際特許分類】

G 01 S 13/95 (2006.01)

【F I】

G 01 S 13/95

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月29日(2013.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乱気流値を自動で受信するステップと、

第1の閾値よりも大きい乱気流値を有するピクセルの事前定義された閾値距離内に位置する表示部上の1つまたは複数のピクセルを自動で強調するステップと、

3次元バッファの対応するセル内に前記受信された乱気流値を自動で記憶するステップと、を含み、

自動で強調するステップは、前記第1の閾値よりも大きい乱気流値を含むように決定されたセルから前記3次元バッファ内で事前定義された閾値距離内に位置する前記3次元バッファのセルに関する1つまたは複数の第1の表示アイコンを自動で生成および出力するステップを含む、

方法。

【請求項2】

1つまたは複数の他の閾値よりも大きい乱気流値を有するセルの事前定義された閾値内にあるセルに関する1つまたは複数の他の表示アイコンを自動で生成および出力するステップをさらに含み、

前記1つまたは複数の他の表示アイコンの生成は、近接セルが前記1つまたは複数の他の閾値未満の乱気流値を有するときに実行され、

前記1つまたは複数の他の表示アイコンは、1つまたは複数の他の閾値よりも大きい乱気流値を含むように決定された前記セルに関係づけられる表示アイコンに少なくとも部分的に類似している、

請求項1に記載の方法。

【請求項3】

気象レーダ要素と、

3次元バッファを含むメモリと、

前記メモリと信号通信するプロセッサであって、

前記気象レーダ要素からの乱気流値を受信し、

第1の閾値よりも大きい乱気流値を有する別の表示位置の事前定義された閾値距離内に位置する表示部上の位置に関する1つまたは複数の第1の表示アイコンを生成する

ように構成されたプロセッサと、

前記プロセッサと信号通信され、前記第1の表示アイコンを出力するように構成された表示部とを含む、

気象レーダシステム。

【請求項4】

前記1つまたは複数の第1の表示アイコンを生成するステップは、前記1つまたは複数の第1の表示アイコンを、前記第1の閾値よりも大きい乱気流値を含むように決定されたセルから事前定義された閾値距離内に位置するセルが、前記第1の閾値未満の乱気流値を有するときに生成するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記プロセッサは、

受信された気象レーダ反射率値を前記3次元バッファ内に記憶し、

第1の閾値よりも大きい乱気流値を含むように決定された前記3次元バッファ内のセルから事前定義された閾値距離内に位置するセルに関する1つまたは複数の第1の表示アイコンを生成する

ようにさらに構成され、

前記表示部は、関係するセルが表示用に前記3次元バッファから選択されるときに前記第1の表示アイコンを出力するようにさらに構成される、

請求項3に記載の気象レーダシステム。